

(3) 自然災害からくらしを守る

< 県内をおそったおもな自然災害 >



1978年（昭和53年）6月、宮城県沖地震により倒壊した民家（国見町）



1986年（昭和61年）8月、台風10号による豪雨で、浸水による被害を受けた工場や民家（郡山市）



1998年（平成10年）8月末の集中豪雨により、浸水被害が発生した谷津田川（白河市）。右が2001年度（平成13年度）に河川環境にも配慮して改修された後の写真

地震や台風などの自然災害は、わたしたちを突然おそってきます。県は、自然災害から県民を守るため、市町村と協力して河川を改修したり、さまざまな防災訓練を行っています。1998年（平成10年）には、空からの救助や消火などを行うため、消防防災ヘリコプターを導入しました。



消防防災ヘリコプター「ふくしま」